

介護保険制度の中で

有限会社オッティモ

あいさぽ〜と江東

かのかん居宅介護支援センター

かのかんデイサービスセンター

三上 章代



日本の介護は、家庭内で妻や嫁、娘と、女性が担ってきた歴史がありました。急速な少子高齢化が進む中、国としての対応が検討され、「介護保険制度」が誕生しました。

保険サービスの利用者と、提供する事業者が制度を理解して不正をせず、保険者である江東区の権限域がさらに広がっていった時、下町本来の人情や地域性を生かした「江東区の介護」が実現されることが期待されます。

しかし大きな問題があります。現在、全労働者の平均年収が約450万円であるのに対し、介護職の平均年収はわずか280万円です。これで、専門職として責任の果たせる仕事ができるでしょうか?そのことも起因し、介護職はここ1年で急速に離職が進みました。

「やりがいのある仕事と思って」選んだ介護職が、「やりがいがない仕事と失望」し、辞めていく現状をみていると、大変残念です。また、より質の高い福祉サービスを提供するには、職員の教育が欠かせません。このままでは、若手を教育できる中堅の介護職が居なくなってしまいます。介護を担っていく人材の育成を、ぜひ行政からも支援してほしいところです。介護保険は、いずれ担い手がなくなって破綻してしまうのではないかと、とても不安になります。

社会全体で育み、介護職の質の向上と社会的地位の確立があつてこそ、世界に誇れる「日本の介護保険」になるはず。そのような制度となることを切に願っています。

福馬えみ子から

三上さんは古くからの知人で、今は介護会社で江東区のために頑張っています。なるほど、人材の問題は大変重要なテーマです。行政からの働きかけは、ぜひとも実現したいですね。これからも貴重なご意見を、よろしくお願いします。



福馬えみ子は、 生活者の視点で取り組みます!!

福祉



みんなで支える 「地域福祉の確立」

- ①バリアフリーの街づくり
- ②地域ネットワークづくり
- ③活動の場づくり
- ④疾病予防の充実
- ⑤地域福祉計画づくり

教育・子ども



子どもを健やかに育む 「教育環境の整備」

- ⑥女性の子育て支援
- ⑦子どもたちがノビノビと学べる環境づくり
- ⑧子どもたちが意欲的に学習する機会づくり
- ⑨世代を超えた生涯教育
- ⑩社会体験参加の機会提供

環境・まちづくり



「未来へと繋がる 環境づくり」 と「食の安全」

- ⑪屋上緑化のさらなる推進
- ⑫環境問題への取り組み
- ⑬ごみゼロ社会の実現に向けて
- ⑭「食の安全」確保
- ⑮公的施設への「環境行動計画」づくり
- ⑯住環境や地域コミュニティを守る街づくり

参画・協働



参加と公開による 「開かれた区政」

- ⑰事業の費用対効果等も評価する仕組みづくり
- ⑱女性の社会参加の一層の推進
- ⑲一般公募（区民参加）の制度化
- ⑳NPO(非営利事業)支援体制づくり
- ㉑地域通貨の導入
- ㉒「男女共同参画条例」制定
- ㉓個人情報保護条例の制定